**◇「西淀川区　地域福祉計画・地域福祉活動計画」**

（令和7年４月１日～令和１２年３月３１日）**とは**

「地域福祉」とは、住民が主体となって、区役所や区社協、企業、事業所などと連携・協働し、だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていくことです。また、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域共生社会づくりを進めていくことが求められています。

このような「地域福祉」を推進するためにとりまとめたものが『地域福祉計画・地域福祉活動計画（愛称：**西淀川あい♡（あい）プラン**）』です。

**◇基本理念**

人が“やさしい”　自分が“いきる”　ふだんの“つ**ながり**”が 『**ここ**』にある

・「人がやさしい」は、困っている人を気にかけることができる**「やさしさ」**を持っているみんなのことだよ！

・「自分がいきる」は、自分の個性などを「活かし」て、自由・健やかに「生きる」ことだよ！

・「ふだんのつながり」は、だれもが孤立することなく、さまざまな場所・場面で、活躍できる「**ネットワーク**」のことだよ！

・「ここ」は、「西淀川」であり、「地域」であり、「家庭」であり、さらにはみんなの「**思いやりの心**」のことだよ！

**◇基本目標&具体の取り組み（例）**

「気にかけよう」

周りの人を気にかけることがきっかけで、周りの人とつながりができます。

一人で困っている人、悩んでいる人がおられたら気にかけてください。

　そうすれば、自分自身が困っている時に気にかけてくれる人が増えるかもしれません。

・福祉意識の醸成・高揚⇒福祉意識を高める

福祉教育・学習会の充実／福祉体験イベントの提供／多文化交流の展開

・見守り活動を拡げる

　　　見守りネット倶楽部の拡充／地域見守り体制の拡充／小地域福祉活動の充実

・ニーズの発掘

新たな地域資源・人財の発掘・発見／ニーズ調査／「ウエルカムバンク」の推進

・多様な居場所を増やす

各種イベントの活用／多様な地域福祉活動の展開

「やってみよう」

いろんな人と知り合い、助け合い、支え合うことで、安心・安全に暮らせます。

困った時、しんどい時はSOSを発信してもいいんです。

まずは、一歩を踏み出し、多くの人と関わりましょう。

・ボランティア活動の展開

各種養成講座の充実／ボランティア交流の促進／「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」の充実

・既存活動の活性化

地域活動等の活性化／多様な交流・ふれあい活動の活用／「ステキな♡となり　　　　　　　　　　　　　　のお節介さん」の認定／異業種・団体交流の促進

・安心・安全の推進

見守りネットワークの推進／小地域福祉活動計画の策定促進／防災訓練の

活用

・新たな活動の創出

　　　新たな人材の発掘・育成／地域資源の活用／学習・子育て支援の展開

「ともに進もう」

生き生きとやりがいに満ちた生活を送ることができるよう、地域のみなさんをはじめ、区役所や区社協、企業、事業所などと連携・協力し、地域福祉を一緒に進めていきましょう。

・話し合いの場づくり

地域での意見交換／地域福祉情報交換の推進

・相談・支援体制の充実

相談支援窓口の充実／総合的支援体制の確立

・情報提供・情報発信の充実

🉐に～よん参考書の活用／多様な情報ツールの活用

今後の取り組み

（１）地域福祉推進会議の開催

・地域福祉推進会議（年３～４回開催）・委員の募集

（２）（仮称）「広報部会」の設置

・誰にでも分かりやすい啓発冊子などを作成

（３）（仮称）あいあいプランお披露目会の開催

（４）（仮称）福祉語ろう会の開催

・意見交換会、年１回程度